

安全データシート

作成日: 2015/03/01
改訂日: 2024/08/02

1. 化学品及び会社情報

製品名:	高純度炭酸水素カリウム 試薬特級炭酸水素カリウム 特殊炭酸水素カリウム 炭酸水素カリウム(SLU#8646)
会社名:	高杉製薬株式会社
住所:	福岡県糟屋郡粕屋町仲原2617
電話番号:	092-621-1231
FAX番号:	092-621-6269
推奨用途:	一般工業用途
使用上の制限:	推奨用途以外の用途へ使用する場合は化学物質専門家等の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

GHS分類:	GHS分類基準に該当しない。
重要危険有害性	
物理的及び化学的危険性:	該当せず/分類対象外/分類できない
健康に対する有害性:	該当せず/分類対象外/分類できない
環境に対する有害性:	該当せず/分類対象外/分類できない
GHSラベル要素	
絵表示又はシンボル:	該当なし
注意喚起語:	該当なし
危険有害性情報:	該当なし
GHS分類区分は付与されないが取扱い時には以下の点に留意する。	
[安全対策]	環境への放出を避けること。
[応急措置]	飲み込んだり、吸入又は接触したか、又はばく露の懸念がある場合、気分が悪いときは医師の手当てを受けること。
[保管]	特になし
[廃棄]	内容物/容器を国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。
他の危険有害性:	情報なし

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分:	単一製品
化学名又は一般名:	炭酸水素カリウム
別名:	重炭酸カリウム, 重炭カリ
濃度又は濃度範囲:	99.0 % ≤ 炭酸水素カリウム
化学式又は構造式:	KHCO ₃
分子量:	100.12
CAS 登録番号(CAS RN®):	298-14-6
官報公示整理番号:	化審法 (1)-153/安衛法 既存
危険有害成分:	特になし

4. 応急措置

吸入した場合:	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受ける。
皮膚に付着した場合:	汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。

眼に入った場合:	多量の水で洗うこと。 皮膚に刺激がある場合は、医師の手当てを受ける。 擦らないこと。 水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合:	苦痛が生じたり、症状が持続する場合は、眼科を受診すること。 口をすすぐこと。 無理に吐かせないこと。 気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受ける。
予想される急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候及び症状:	情報なし
応急措置をする者の保護:	適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用する。
医師に対する特別な注意事項:	情報なし

5. 火災時の措置

消火剤:	本品は不燃物。周辺火災に応じた消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤:	特になし
火災時の特有危険有害性:	加熱により分解し、二酸化炭素を発生する。
特有の消火方法:	特になし
消火を行う者の保護:	周辺火災の消火活動に応じた防火服、耐火服、呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	関係者以外立入禁止。 第7項及び第8項の保護対策を参照する。
環境に対する注意事項:	環境への放出を避ける。 漏出物を回収すること。
回収、中和 少量の場合:	吸収材(例:布)で拭き取る。 機械的に取り除き、適切な処分用容器に入れる。
大量の場合:	広範囲へ広がらないようにする。 粉じんの発生を防ぐ。 シートなどで覆い、粉の飛散を防ぐ。
封じ込め及び浄化方法・機材: 二次災害の防止策:	安全に対処できるならば漏洩を止めること。 特になし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策: 安全取扱い注意事項:	「8.ばく露防止及び保護措置」を参照。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 粉じんを吸い込まない。 指定された保護具を使用すること。 換気の良い場所で使用すること。
接触回避: 衛生対策:	「10.安定性及び反応性」を参照。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
保管 技術的対策: 安全な保管条件: 混触禁止物質: 安全な容器包装材料:	密閉した状態を保つ。 容器は、密閉した状態を保ち、高湿・多湿とならない場所に保管する。 「10.安定性及び反応性」を参照。 密閉できる容器・包材に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度: 許容濃度	設定されていない。
日本産業衛生学会: 米国産業衛生専門家会議(ACGIH):	設定されていない。 設定されていない。

設備対策:	十分な洗浄設備を備えること。 十分に換気すること。
保護具	
呼吸器の保護具:	吸入によるばく露が懸念される場合は呼吸保護具の装着が推奨される。 フィルター付ガス/防じんマスク
手の保護具:	PE(ポリエチレン)使い捨て手袋、ゴム手袋
眼の保護具:	保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具:	長袖服、腕カバー、長靴等、適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	
形状:	結晶性粉末
色:	白色
臭い:	無臭
臭いのしきい(閾)値:	データなし
pH:	水溶液は弱塩基を示す
融点・凝固点:	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲:	データなし
引火点:	データなし(不燃性)
燃焼性(固体、ガス):	データなし(不燃性)
爆発範囲:	データなし(不燃性)
蒸気圧:	データなし
蒸気密度:	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1):	データなし
比重(相対密度):	2.2
溶解度	
水に対する溶解性:	224 g/1000 g (0 °C)
n-オクタノール/水分配係数:	データなし
自然発火温度:	データなし
分解温度:	100 °C以上
粘度(粘性率):	データなし
粒子特性:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性・化学的安定性:	通常の取扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性:	情報なし
避けるべき条件:	加熱(100 °C以上に加熱すると分解する。)
混触危険物質:	酸性物質と接触すると分解し、二酸化炭素を発生する。
危険有害な分解生成物:	100 °C以上に熱すると分解しはじめ、200 °Cで二酸化炭素と水を失って炭酸カリウムとなる。

11. 有害性情報

急性毒性(経口):	分類できない
急性毒性(経皮):	分類できない
急性毒性(吸入; 気体):	GHS定義で固体であるので、分類対象外とした。
急性毒性(吸入; 蒸気):	GHS定義で固体であるので、分類対象外とした。
急性毒性(吸入; 粉塵):	情報なし
急性毒性(吸入; ミスト):	GHS定義で固体であるので、分類対象外とした。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性:	情報が不足しているため、分類できないとした。
目に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:	情報が不足しているため、分類できないとした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性:	情報なし
生殖細胞変異原性:	情報なし
発がん性:	情報なし
生殖毒性:	情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	情報なし
誤えん有害性:	情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期(急性):	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性):	分類できない
残留性/分解性:	情報なし
生体蓄積性:	情報なし
土壤中の移動性:	情報なし
オゾン層への有害性:	モントリオール議定書の附属書に列記された成分を含まない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	内容物/容器を「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って廃棄すること。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理をする。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装:	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。 洗浄後、リサイクルするか、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号:	該当しない
品名(国連輸送名):	該当しない
国連分類:	該当しない
容器等級:	該当しない
海洋汚染物質:	該当しない
国内規制	
陸上輸送情報:	該当しない
海上輸送情報:	該当しない
航空輸送情報:	該当しない
特別な安全対策:	輸送に際しては直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
緊急時応急措置指針番号:	該当しない

15. 適用法令

労働安全衛生法:	該当しない
消防法:	該当しない
毒物及び劇物取締法:	該当しない
大気汚染防止法:	該当しない
土壤汚染対策法:	該当しない
水質汚濁防止法:	該当しない
海洋汚染防止法:	該当しない
船舶安全法:	該当しない
航空法:	該当しない
道路法:	該当しない
化学物質管理促進法(PRTR法):	該当しない
外国為替及び外国貿易法:	輸出貿易管理令別表第1の16の項【HS2836.40】

16. その他の情報

参考文献:
1. 化学大辞典 東京化学同人(1989)

改訂情報:
旧版(2024年3月1日付け)からの改訂点は、「1.製品及び会社情報」の製品名に「炭酸水素カリウム(SLU#8646)」を追加したことである。そのため、内容は旧版からの変更はない。

この安全データシートは、各種の文献等に基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありません。また、作成の時点における知見によるものです。注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な条件下で使用する場合は、その環境に応じて安全対策を講じてください。含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証もするものではありません。